

南花台ブースアートコンペティション

01 企画の背景と目的

南花台中央公園の公衆トイレにおいて、内装を検討するにあたり、建材の特性上、内壁への直接的な装飾や塗装が困難という課題があります。

本プロジェクトでは、施工が困難な「壁面」ではなく、「トイレブース（個室扉）」をキャンバスとして活用することで、南花台小学校の児童のアートを街に組み込み、公園の価値を高めることを目的とします。

02 「ブースの扉」を「キャンバス」として活用



現場の特殊な仕様に基づき、以下の理由から「トイレブースへのシート施工」が最適であると判断しました。

①内壁の施工困難性：

本計画の内壁は外気と一体の開放型であるため、外壁と同等の耐候性が求められます。

計画ではジョリパット仕上げであり、カットニングシートの貼付には不向きです。また下地のデラクリートセメントボードは、ボードの性質上一般的な塗装ができません。

②解決策としての「ブース・アート」

壁面への施工を避け、平滑な面を持つ「トイレブース（扉部）」に高耐久のカットニングシートを施します。これにより、建材の制約を受けずに、空間全体の印象を明るく変えることが可能です。

02 南花台小中学校での「ブースアート・アイデアコンペ」の実施

南花台小中学校で、デザインアイデアを募集する「アイデアコンペ」を開催し、デザイン案を募ります。

アイデア募集の際は「未来の公園」や「地域の自然」などのテーマを設定しデザインを考案していただきます。

いただいたアイデアをもとにデザイン案を決定し、扉部にカットニングシートを貼り付けます。